

小学校第4学年 教科：音楽 「せんりつの特徴を生かして歌おう ゆかいに歩けば」

■単元の目標

『ゆかいに歩けば』のイメージを広げ、どうやって歌えばそのイメージに合った表現ができるのか、思いや意図をもった子どもたちが、息の使い方に気をつけながら、スタッカートやタイを歌うことを通して、せんりつのとくちょうを生かすと、イメージを表すことができるということに気づくことができる。

■資質・能力が育成され「深い学び」に向かおうとしている子供の姿

【学習活動の場面】

自分のイメージを広げ、どうしたら自分のイメージを表せるか考えた子どもたちが、息の使い方を工夫してそのイメージを表そうとしている場面。

【主体的・対話的で深い学びを実現する具体的な学習活動】

【導入】

自分たちのグループは、どんなイメージを持ち、そのイメージを表現するにはどこをどう工夫したらよいか、確認する場面。前時点で自分がどのような目標を立てたのか確認する。

遅れたけど頑張っている感じを出すために	スタッカートの部分を	ちゃんと切って、演奏したい
休憩している感じを表すために	スラーとタイを	滑らかに歌いたい
滑らか、ゆらゆらしている雰囲気を表すために	スラー、タイの部分を	息をつなげて歌いたい
休んでいる感じを表すために	スラータイを表すために	きれいに歌いたい

【展開】

自分で工夫をし、さらにイメージに近づけるよう、追究を重ねる場面。タブレットの録音機能を使い、自分たちのイメージに近づけているのか確認したり、先生や友達の意見を聴いて工夫を重ねていった。



聴いて



録音して



発表する

【終末】

まとめの場面。息を工夫をすることで、自分のイメージした楽曲に向かうことが分かった。

■GIGA端末とクラウド環境の効果的な活用と指導上の工夫

①スプレッドシートに書いた自分の工夫する場所を確認することで、本日の目標をスムーズに共有することができる

②録音機能を使い、客観的に自分たちの歌声を聴き返せるようにした。それにより、前回の録音データとも比較ができるようになった。



【資質・能力が育成され深い学びに向かおうとしている子供の姿】

教科の見方・考え方をポイントとして確認しておいたため、子どもたちが工夫をする際に曖昧にならずに聴き返す姿が見られた。

【主体的・対話的で深い学びに向かおうとしている指導の例】

自分のイメージした歌にするために、もっとどういう風に歌ったら良いのか、グループの中で話し合いをして録音していた。さらに、録音したデータから、「ここがよかった」とさらに追究する姿があった。

小学校第6学年 教科：総合的な学習の時間 「小川小に残したいことを5年生に伝えよう」

■単元の目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①教科の特性や内容に応じた方法で、わかりやすく新聞等にまとめることができる。 ②Canva・プレゼンテーション・スライド等を使い、伝えたいことを相手にわかるように伝える事ができる。 ③修学旅行がみんなにとって楽しいものとなったのは、それまでの準備や当日の行動によるところが大きいことに気づくことができる。	①見出しや写真の配置に気をつけながら、修学旅行の思い出を新聞にまとめることができる。 ②5年生にとって大事なことを伝えるために、どんな写真や文章を使えばよいのかを考えることができる。 ③わかりやすく伝える方法を考え、文章や吹き出し・写真など、伝える方法を選ぶことができる。	①友だちや先生とかかわり合いながら、自分の課題を達成しようとしていたり、友だちの考えのよさを認め合おうとしている。 ②5年生へ発表するに当たり、目的意識を明確にしてお互いにかかわろうとしている。 ③自分の思いを5年生に伝えるために、言葉を選んだり、発表の仕方に抑揚をつけたりしようとしている。

■資質・能力が育成され「深い学び」に向かおうとしている子供の姿（第7小単元）

【学習活動の場面】

修学旅行を振り返る過程で“楽しい思い出になったのはどうしてだろう”と考え、自分たちの責任ある行動が根底にあると気づいた子どもたちが、それを小川小に残そうという活動を通して、自分たちの思いを伝えられるように内容や方法を考えながら5年生に向けた発表原稿をつくらうとしている場面

【主体的・対話的で深い学びを実現する具体的な学習活動】

【導入】

どんな内容・順番・方法で何を伝えたいのかを考えながらGoogleスライドで発表原稿を作る。



【展開】

2つのグループに分かれて原稿を作った。複数人で分担して編集したり、全員が同じページを編集したりした。その後、お互いのスライドを見合えるようにして意見交換をした。

【終末】

本時を振り返り、5年生に対して自分たちの思いを伝えるための原稿になっているかを次時に行くことを確認した。



■GIGA端末とクラウド環境の効果的な活用と指導上の工夫

①発表原稿を、グループごとにGoogleスライドを活用しながら共同編集で行うことで、内容についてお互いにアドバイスしながら進めることができる。

②2つのグループの原稿を見合うことができるようにすることで、お互いのよさを認め合うことができる。

【資質・能力が育成され深い学びに向かおうとしている子供の姿】

自分が考えたスライドの内容をグループの友だちが見てアドバイスしてくれることで、全体の構成に視点が向き、さらに内容を吟味して編集に生かすことができた。

【主体的・対話的で深い学びに向かおうとしている指導の例】

スライドを通して意見交換ができるので、声をあげにくい子どもたちにとって発信できる機会が広がったように思う。

【学校名】小川村立小川小学校（長野県）

小学校第5学年 教科：図工 「形に命をふきこんで」

■単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> コマ撮りのアニメーションの仕組みを理解する。 楽しい動きや変化をつくるために動きや奥行き、材料、場所などを活用しながら、創造的につくったり表したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> コマ撮りアニメーションを作る活動を通して、材料や場所、空間の広がり、奥行きなどの特徴を基に材料の動かし方や撮影空間の使用の仕方を構成したり、考え合わせたりしながら、どのように撮影するかについて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的にコマ撮りアニメーションの仕組みを使って、楽しい動きや変化をつくる学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わおうとしている。

■資質・能力が育成され「深い学び」に向かおうとしている子供の姿（第8単元）

【学習活動の場面】

本単元は、国語「もう一つの物語」の学習とつなげて単元展開をしていった。自分で設定した物語構成をもとに、ねらいをもってコマ撮りアニメーションの撮影の活動に取り組む場面である。

【主体的・対話的で深い学びを実現する具体的な学習活動】

【導入】

前時で撮影したものを全体で共有しグループごとに本時の計画をGoogleスライドに入力する。



【展開】

グループごとに物語に沿って撮影を行う。



場所や道具などを自分たちで選択し、活動に取り組む。

【終末】

本時をふり返り、Googleスライドに入力する。次時の計画をたてる。

■GIGA端末とクラウド環境の効果的な利活用と指導上の工夫

活動の計画・ふり返りを、グループごとにGoogleスライドを活用し、共同編集で行うことで、見通しをもって学習に臨むことができる。

アプリ「KOMA KOMA×日文」を活用し、撮影を行う。撮影できたものはGoogleスライドに貼り付けることで、互いの作品を参考にすることができる。また、離れた場所同士をGoogle Meetでつなぎ、指示や相談ができる環境を設定しておく。

【資質・能力が育成され深い学びに向かおうとしている子供の姿】

自分の構成した物語を表すために、様々な工夫をし、表現方法を追求していた。場所や道具、撮影技法を、グループ内で話し合いながら、よりよい作品を作ろうと試行錯誤する姿が見られた。



【主体的・対話的で深い学びに向かおうとしている指導の例】

- ・授業で扱う内容をクラウド上で共有することで、子どもたちが「見通し」を持って授業に参加できる環境を設定した。
- ・アニメーションで使用できるものの選択肢を自由にすることで、作品に対して「上手さ」「正確さ」ではなく、自由な表現の中で、自分らしく自分自身の表したいものを追求できるようにした。

【学校名】 小川村立小川小学校（長野県）

中学校 第1学年 教科：音楽 「魔王」ってすごい！

■単元の目標

- (1)「魔王」は、語り手3人の登場人物によって構成される物語を、ピアノと一体となった独唱で豊かに表現される音楽であることを理解する。【知識】
- (2)音色、旋律、調性（長調・短調）、テクスチュア（和音やハーモニー、音や旋律の重なり方など）、強弱を聴き取り、作曲者の意図や演奏者の工夫を推測しながら、歌と詩の情景や登場人物の心情の変化を豊かな曲想表現を味わって紹介文にまとめる。【思考力、判断力、表現力等】
- (3)「魔王」の物語の展開と音楽の関係に関心をもち、楽曲と演奏のよさや美しさの根拠は、語り手や登場人物の心情を表す音楽のどこにあるのか、旋律の雰囲気や歌い方の特徴と結びつけて探究する。【主体的に学習に取り組む態度】

■資質・能力が育成され「深い学び」に向かおうとしている子供の姿

【学習活動の場面】 「魔王」の原語の独唱を聴いて「すごい！」と感じた生徒が、「魔王」の物語の展開に興味をもって、語り手や登場人物の心情を表現する音楽とその音楽を形づくっている要素に着目して、聴く旋律を選んで鑑賞して、父、子、魔王が、A、B、Cのどれであるか推測することを通して、場面の状況や登場人物の心情を豊かに表現している効果に気づく。

【主体的・対話的で深い学びを実現する具体的な学習活動】

【導入】

- ① 原語の独唱CDを聴いて、「すごい!」「こわい」「不気味」など初感をスライドに書いて、全体で共有する。
- ② 曲名が「魔王」であることを知らせて、語り手、登場人物3名、父、子、魔王の4役を一人で歌っていることを確認。
- ③ 学習課題:原語の独唱CDを聴いて登場人物と歌を結びつけよう

【展開】

- ① 父、子、魔王は、A、B、Cのどれなのか、原語の音源を聴いて推測する。(個別)
- ② 推測した根拠を共有シートに入力する。(個別・協働)
- ③ 登場人物の歌を推測する根拠になった音楽を形づくっている要素を出し合って、その効果を全体で考える。
 - ・「高い声」「怖がっている感じ」で子はBで全員一致
 - ・「低い声」「脅している感じ」で魔王はAが多数だが迷う生徒もいた。

【終末】

- ① 魔王がA、父がCが多数であるが、魔王がCで父がAではと迷っている生徒がいるため、登場人物を記した楽譜は伏せて、次時に追究を続けることにした。
- ② 自己探究課題を見つけ、次時につなげる。
(楽譜を見ながら原語の演奏を聴いて、心情を表している音楽の根拠を音楽を形づくっている要素を視点に探究する)

【資質・能力が育成され深い学びに向かおうとしている子供の姿】

「Bは子」「Aは魔王、Cが父」という生徒が多い中で、「Aが父、Cが魔王かもしれない」と迷っていたK生。Aの声は低く、Cの声は優しく子を心配しているようにも聞こえるが、根拠をもって説明するために何度もくり返し聴くK生の姿が見られた。

【主体的・対話的で深い学びに向かおうとしている指導の例】

「Aは魔王、Cが父」という生徒は、「声が低い、太い」という音楽を形づくっている要素を挙げている。日本語の歌唱を聴かせればすぐに「Aが父、Cが魔王」と分かるが、音楽を形づくっている要素から気づかせたい。「Bが子」であることの根拠を全体で聴いて確かめることにより、声の高低以外の要素、特に長調と短調に生徒の目が向いてきた。

■GIGA端末とクラウド環境の効果的な活用と指導上の工夫

①クラウドで音源の共有

A・B・Cの登場人物ごとにまとめた楽譜と音源を組み込んだスライドを共有。生徒は自分の聞きたい部分の音源を何度も聴きながら考察することができる。



②個の気づきの可視化と共有

- ・登場人物のイラストをつけたカードをスライド上に用意し、生徒が自分の予想とその根拠を入力。
- ・個人の考えの可視化や他者参照による考えの広がりが生まれた。



中学校第2学年 教科：国語

「作者をうならせる解釈をもとう～作者(生成AI)と対話をしながら漢詩の解釈を深める～」

■単元の目標

- ・漢詩特有のきまりやリズムを知り、訓読に慣れ親しむとともに、詩に詠まれた情景を想像することができる。【知識・技能】（「伝統的な言語文化」イ（ア）（イ））
- ・詩の描写や表現技法などにも着目し、友や作者（生成AI）との対話を通して、作者が詩に込めた思いやものの見方を深く解釈し、その根拠と結論をスライド等の資料にまとめて発表することができる。【思考・判断・表現】（「読むこと」ウ、「話すこと・聞くこと」イ）
- ・漢詩や解説文の読解に加え、友や作者（AI）との対話を通して、詠まれた情景や心情を深く理解しようとし、自らの読みを広げようとする。【主体的に学習に取り組む態度】

■資質・能力が育成され「深い学び」に向かおうとしている子供の姿

【学習活動の場面】…生徒は「作者をうならせる」という目標に向けてカスタム Geminiに自分の考えた解釈を入力する。「春暁」を読解する場面では、AIのレベル判定やヒントを受け、教科書の再読やペアとの対話を行いながら「寝床の中で、鳥や風雨の音から春の美しさを想像していること」や「心のゆとりがもたらす幸福感」が表れていることに気づいた。推敲を重ねてAIに挑み、解釈を深める姿があった。

【主体的・対話的で深い学びを実現する具体的な学習活動】

【導入】

- ①漢文の基本知識について確認する。
- ②漢詩の風景を範読し、音読練習を行う。
- ③単元の学習問題を提示し、学習課題を捉える。

【展開】

- ①「春暁」の情景と込められた作者の思いを考える。（個別）
- ②「春暁」の解釈をペアで深める。（個別・協働）
 - ・個人で考えた情景と詩に込められた想いをペアで共有する。
 - ・情景、想いを Geminiに入力し、作者（生成AI）に評価してもらう。
 - ・作者（生成AI）をうならせることができるまで、教科書や便覧を読み返したり、ペアや作者（生成AI）と対話したりしながら推敲する。
- ③「絶句」「黄鶴楼にて…」のどちらかを選び、個人で、春暁と同様に解釈を深める。
- ④スライドやCanvaを使って選んだ漢詩について自分の言葉でまとめる。（個別）
- ⑤まとめた資料を発表する。

【終末】

「漢詩風景」の単元から得た学びをふり返る。

【資質・能力が育成され深い学びに向かおうとしている子供の姿】

春暁を読解する場面では、AIから「解釈が浅い」と指摘された生徒は、教科書や便覧を再読したり、ペアと対話したりすることで思考を深めた。その結果、「寝床の中で、鳥や風雨の音から春の美しさを想像していること」や「心のゆとりがもたらす幸福感」が表れていることに気づき、詩中の語句や作者の背景を根拠に、作者ををうならせようとする姿が見られた。

【主体的・対話的で深い学びに向かおうとしている指導の例】

AIに「作者本人」という役割を与え、詳細な指示（プロンプト）を設定しておくことで、単に正解を教えずに問い返し、生徒が解釈を再考するよう促した。また、「春暁」を読解する場面では、AIとの対話だけでなくペアで考察する時間を設け、様々な視点で考え、思考が停滞しないよう支援を行った。

■GIGA端末とクラウド環境の効果的な利活用と指導上の工夫

【導入②】 デジタル教科書を使用した音読練習

デジタル教科書の範読機能を活用し、漢詩独特のリズム習得やを図った。速度の調整や反復再生により、自分のペースで、音読練習に取り組むことができた。

【展開②③】 カスタム Geminiとの対話

・教師が事前に「作者」の人格や評価基準（読解レベル1～4）を指示したカスタム Geminiを作成し、Classroomで配布。生徒一人ひとりの解釈に対し、AIが作者の視点から即座にフィードバックを行うことで、生徒は何度も「思考→入力→推敲」のサイクルを回すことができる。



【全体】 スプレッドシートによる共有と蓄積

・全ての意見をスプレッドシートに入力し、全体で共有し、他者の考えを参照した。

中学校 第3学年 教科：数学 「船の位置はどこ？」

■単元の目標

- (1) 円周角と中心角の関係を理解し、それが証明できることを知る。(知識・技能)
- (2) 円周角と中心角の関係を見だし、円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。(思考・判断・表現)
- (3) 円周角と中心角の関係のよさを実感して粘り強く考え、円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとする態度、円周角と中心角の関係を活用した問題解決の過程を振り返って評価改善しようとする態度を養う。(主体的に学習に取り組む態度)

■資質・能力が育成され「深い学び」に向かおうとしている子供の姿

【学習活動の場面】…生徒は、船から見える建物の位置関係から船の位置を特定するため、円周角と中心角の関係について学んだ知識を使って、数学Webアプリの残像機能を利用して観察したり、学習カードに作図したりする。

■GIGA端末とクラウド環境の効果的な活用と指導上の工夫

【主体的・対話的で深い学びを実現する具体的な学習活動】
【導入】
 ① 問題場面の状況を確認・整理する。
 ・ Google mapで実際の映像を見せ、問題場面のイメージをつかませる。
 ② これまで学習した円周角の知識を活用して作図することを確認。
【展開】
 ① GeoGebra (数学Webアプリ) を活用して観察したり、学習カードへ書き込んだりして船の位置 (点P) を見つける (個別・協働)
 ・ 生徒の進捗状況に応じ、早く解を見つけた生徒には問題を自作させる。
 ② 追究の結果を共有する。(協働)
 ・ 追究結果を授業スライドに添付させ、共有する。
 ③ 自分の理解度に応じた課題に取り組む (個別)
 ・ 発展、標準、学習問題の反復
【終末】
 ① 追究のふり返りをスプレッドシートへ入力。

① Google mapの活用
 ストリートビューで学習場面の映像を見せることで、学習場面をイメージさせる。

② 数学Webアプリの活用
 ・ 点をドラッグして残像を残すことで、条件を満たす図形をイメージ。
 ・ 学習カードとの併用により、生徒は学び方を選択することができる。



【資質・能力が育成され深い学びに向かおうとしている子供の姿】
 $\angle APB = 30^\circ$ を保ちながら点P (船の位置) をタッチペンでドラッグして残像を残すと円が描けることに気づき、そこから円周角 30° 、中心角が 60° と、作図すべき円の見通しをもつ姿が見られた。
【主体的・対話的で深い学びに向かおうとしている指導の例】
 日頃から個人追究の後に自由に情報交換をする時間を設けており、生徒達は追究の結果を確認し合ったり、分からない生徒へヒントを出して教え合ったりしている。

③ クラウドに難易度別の課題提示
 生徒は自分の理解度に応じた課題に取り組むことができる。

- 07課題A
Google スライド
- 07課題B
Google スライド
- 07課題C
Google スライド